

令和8年度

止まって！横断歩道キャンペーン

—横断歩行者を交通事故から守ろう—

1 実施期間

令和8年4月1日(水)～令和9年3月31日(水)

【取組重点期間】

4月6日(月)～4月15日(水)

7月22日(水)～7月31日(金)

9月21日(月)～9月30日(水)

12月11日(金)～12月20日(日)



新潟県交通安全マスコット
ルルちゃん

2 目的

この運動は、「横断歩道は歩行者優先」であることを広く呼びかけ、横断歩道を通行する車両の運転者に対して、横断歩行者の保護意識を徹底するとともに、横断歩行者が、横断の意思を明確に伝えることで自らの安全を守り、横断歩道における事故の防止を図ることを目的とします。

3 運動の重点

- ・車両の運転者に対する横断歩道通過時の交通ルールの徹底
- ・横断歩行者に対する「渡るよサイン」の活用促進

4 運動の進め方

県、市町村及び関係機関・団体は、相互に連携を密にして、この実施要綱に基づき、横断歩行者保護のための広報・啓発活動及び街頭指導を積極的に実施します。



横断歩行者妨害は交通違反です！



～横断歩行者等妨害等の罰則関係～

	自動車	自転車
反則金	大型車 1万2千円 普通車 9千円 二輪車 7千円 原付 6千円	6千円
違反点	2点	なし
罰則	3月以下の拘禁刑又は5万円以下の罰金	

令和8年4月1日から、
自転車運転者に対する
交通反則通告制度
(通称：青切符)

が始まります。
自転車も「車両」です。
横断歩道では、歩行者優先を意識した運転を心がけましょう。

新潟県交通安全対策連絡協議会

令和7年中の横断歩行者事故等の状況

- 令和7年中の交通事故死者数 55 人（前年比±0 人）のうち、当事者別（車、バイク、自転車、歩行者）では歩行者が 15 人（前年比-9 人）と、昨年と比較して減少しました。

また、交通事故で亡くなった歩行者 15 人のうち、状態別では「道路横断中」が 12 人（前年比-4 人）と、全体の8割を占めています。

さらに、この道路横断中に亡くなった 12 人は、いずれも高齢者でした。（※高齢者は、65 歳以上を指す。）

このことから、高齢歩行者の安全確保を中心に、交通事故防止に向けた取組の強化が重要となります。

- 一般社団法人日本自動車連盟（JAF）が令和7年に実施した、信号機のない横断歩道で歩行者が渡ろうとしている場合における車の一時停止率の調査結果によると、新潟県は 57.0%（令和6年 49.0%）と向上し、全国平均の 56.7%（令和6年 53.0%）と同程度の数値となりました。



横断歩行者の安全確保

車両を運転する皆さん 横断歩道は歩行者が最優先

- 路面に標示された「ダイヤモンド」は、その先に横断歩道があることを示しています。（※周辺状況により設置されない場合もあります。）
- 進行方向に、「ダイヤモンド」又は「横断歩道」が見えたら、横断歩行者がいないことが明らかな場合を除き、横断歩道の手前で停止できるよう減速するとともに、横断歩道付近に歩行者がいないか、しっかりと確認しましょう。
- 横断歩道付近にいる歩行者の動きには特に注意し、横断しようとしている人や横断中の人がいる場合は、必ず横断歩道の手前で一時停止しましょう。



横断歩行者の皆さん 安全を十分に確認して横断しましょう

- 横断歩道を利用する際は、確認する方向に体をしっかりと向け、遠くまで見渡すなどして安全を十分に確認しましょう。また、「渡るよサイン」などの動作で、横断する意思を運転者に伝えましょう。

（※「渡るよサイン」とは、手を上げる、目で合図を送るなど歩行者が、車両の運転手に横断意思を伝える様々な動作の総称を言います。）

- 外出する時は、白色などの明るい服装を心掛けるとともに、夜光反射材などを身に付けて、車両の運転者に自らの存在を知らせましょう。また、横断歩道がある場所では、必ず横断歩道を渡りましょう。

渡ります！

